

第1671号

4

2024年
ISSN 0039-4866

水産総合月刊誌 明治25年9月26日第三種郵便物認可 令和6年3月25日印刷納本
令和6年4月1日発行(毎月1回1日発行 第1671号)

水産界

◇ 第21回シーフードショー大阪開催



被災地へ向け、がんばろう三唱で幕開き

ハラルビジネスでニッチトップ戦略 ⑬

全世界に19億人とも言われるイスラム教徒のハラルマーケットは、輸出、インバウンド共に今後成長が見込まれます。一般社団法人ハラル・ジャパン協会の紹介により、ハラル認証を取得し、イスラム教徒向け水産物販売に取り組む企業を連載で掲載してまいります。

企画：一般社団法人ハラル・ジャパン協会 ホームページ：<https://jhba.jp>

株式会社ディ・エッチ・イー・マリフーズ



高橋伸和代表取締役社長

株式会社 ディ・エッチ・イー・マリフーズは、平成4年に静岡県の清水で創業して以来、マグロ加工品をメインとした製造・販売を行っています。業務用・消費者用ともに、マグロの切り落としやネギトロ（まぐろたたき）を主力製品としており、スーパーや外食産業、市場などに展開しています。まぐろの水揚げ量日本一を誇る、静岡県清水港の近くに加工場を持つ本社だからこそ可能となる厳選した鮮度の良い原料を直送し、高鮮度・高品質の商品を生産・提供。まぐろの本来の味・おいしさと品質にこだわり、消費者の健康にも気遣った製品を届けることをモットーに会社一丸となって取り組んでいます。今回は同社代表取締役社長の高橋伸和氏にお話を伺いました。

【ハラル認証取得決断されたきっかけは】

もともとハラルやイスラム教についての知識を持ち合わせていなかったのですが、当社では近隣の日本語学校と提携し、インドネシアやスリランカから来日したムスリム（イスラム教徒）の留学生を雇用しております。そこで、イスラム教徒が食べられないものがあることや安心して購入・喫食できるハラル認証食品の存在、国内にもハラル食品を求めている人が多くいることを知りました。

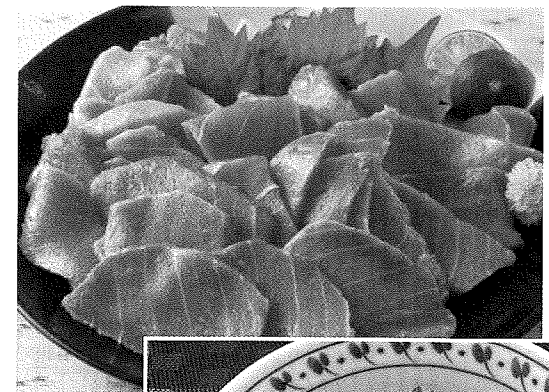
マグロはもちろんハラル食材ですし、社内で製造している原料全てがハラルに合致しているということが分かり、ムスリムの方にも安心して食べていただければという思いからハラル認証を取得することを決断し、昨年（2023年11月）に日本イスラム文化センターよりハラル認証を受けました。

【ハラル認証商品について教えてください】

今回ハラル認証の対象とした商品は、「TUNA PLUS+ DHA・EPA」「TUNA PLUS+ Ca」「パンにあうツナ」「まぐろたたき」の4商品です。

「TUNA PLUS+」は、コロナ禍前の2019年に「1日1本、おさかな習慣。」をキャッチコピーにワンハンドで気軽に食べられる商品として開発、販売開始して、2022年12月にリニューアルを行い、現在に至ります。

DHA・EPA強化とカルシウム強化タイプの2アイテムがあり、レトルト殺菌処理をし



ていますので、常温で2年間の保存が可能です。スティックタイプで手軽に持ち歩くこともできますので、小腹がすいたときなど間食としても、いつでもどこでも気軽に召し上がっていただけます。近年は多くの方が日常生活に筋トレを取り入れ、たんぱく質の摂取を気にしながらの食事をする方が増えています。消化吸収の良いまぐろのタンパク質が1本で10g摂取できて、DHA・EPAやカルシウムといった栄養素も補えますので、引き合いが増えています。サラダチキンが流行りましたが、TUNA PLUS+もタンパク質摂取の選択肢として広がることを期待しています。また、DHA・EPAはまぐろの頭や目玉に多い魚油を、カルシウムはカツオの骨を微粉にしたものを使用しており、自然な味わいに仕上がっています。

ネギトロを製造している過程で骨を取り除く工程があり、丁寧に手作業で行っておりますので、骨と一緒に食べられる身の部分も一緒に取り除くこととなります。食べられるものをできるだけ捨てないようするためにもこうしたものを利用した商品のラインアップが必須であると考



え、オリジナル商品として開発しました。2年の賞味期限となりますがプラ包装ですのでゴミの処理も容易で、多くのメリットがある商品です。こうしたコンセプトが評価され、2023年2月に静岡市SDGs連携アワード「大賞」を受賞いたしました。

【ハラル認証取得で良かったことは】

ハラル認証を取得したことをウェブサイトに掲載したところ、清水港に寄港する船舶会社からの問い合わせがありました。多くの旅行者を運ぶ客船ならではのご要望として早速効果があつたと実感しております。

【今後の展開についてお聞かせください】

まずは弊社が初のネギトロ（まぐろたたき）のハラル認証取得となりますので、ネギトロがハラル商品であるという認知度を高められるように発信していく、並行しながら海外進出への知識を深め、チャレンジしていきたいです。

聞き手：一般社団法人 ハラル・ジャパン協会
ハラルビジネスコンサルタント 川本 浩二